

科目名	通信法規		英文表記	Communication Law		H23.3.17	
科目コード	5208						
教員名：杉本和英 技術職員名：						作成	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
情報通信システム工学科			5年	選	学修	1単位	講義
目標及び評価方法	目標項目				評価方法及びその割合		
	①情報通信関連法規を独力で読破し理解する。 ②通信関連資格の取得にチャレンジできるようになるための基礎学力を習得する。				①定期試験（中間・期末）（70%（各35%）） ②課題レポート（30%）		
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		全プログラム
	○		◎		JABEEプログラム教育目標		A-1,B-1,B-2,B-3,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	情報通信関連法規のうち「電波法」の内容を条文に従って理解する。 毎回、各講義項目について要点をまとめさせレポートとして提出させることで理解度を確認する。						
教科書・教材	情報通信法規教本（日本理工出版会） （参考図書）法規突破読本（電機通信協会）						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目
1	講義ガイダンス	2	講義の目標・概要・進め方・参考図書を紹介す				
2	目的・電波法令・用語定義	2	目的・電波法令・用語の定義について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
3	電波に関する条約	2	電波に関する条約について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
4	無線局の免許(1)	2	無線局の開設について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
5	無線局の免許(2)	2	免許の申請・審査・予備免許について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
6	無線局の免許(3)	2	簡易な免許手続きについて学ぶ。				講義の予習，課題レポート
7	無線局の免許(4)	2	免許に係る諸事項について調査する。				講義の予習，課題レポート
8	中間試験	2	無線局の免許に係る諸手続きに関するレポートをまとめる。				
9	無線設備(1)	2	用語の定義について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
10	無線設備(2)	2	電波の型式と質、電波に係る諸事項について				講義の予習，課題レポート
11	無線従事者(1)	2	無線設備の操作について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
12	無線従事者(2)	2	従事者の資格の種類と免許について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
13	運用(1)	2	禁止・防止事項、無線局の運用について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
14	運用(2)	2	通信方法・業務書類について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
15	監督と罰則	2	命令・検査・免許の取消・報告・罰則について学ぶ。				講義の予習，課題レポート
期末	期末試験	[0]	基礎知識に関する定期試験の得点により理解度を確認する。				
学習時間合計		30	実時間				25
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 講義の予習復習（補講含む）（7時間） 課題レポート（8時間）							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分=1、100分=2）